

家庭教育通信

小学校低学年期のこどもたち5

令和3年1月11日発行

ゲームばかりして困っています～親のかかわり方のポイント

寒い季節、室内で過ごす時間が増え、こどもがゲームに夢中になりすぎて困るとの声を聞きます。親はどのようにかかわれば良いのでしょうか。こどもにとってのゲームの魅力を考えながら、対処方法を探ります。

力への欲求・勝ちたい心

個性として強弱はありますが「勝ちたい、負けたくない」という欲求は人にとって自然なもの。それがあってこそ工夫する知恵や飛躍が可能になることも多く、負けず嫌いにも大事な意味があります。

勝って自分の「力」を感じることは、こどもにとって快感ですし自信にもなります。

ゲームには、そういう欲求を満足させる何かは隠れています。最近は協力や役割を考えさせるようなタイプもあるようです。そんな魅力をまずは理解してあげましょう。

ゲームばかりする理由は？

しかし、ゲームばかりでは、親として困りますね。

そこで、お子さんの状況をよく考えてみます。

- ①ゲーム以外に楽しいことがない
- ②他に好きなこともあるが、このゲームが今、楽しい

②の場合はあまり心配しなくても、例えば、幼児期に絵本読み聞かせで本の世界の楽しさを味わった子は、学童期にマンガ漬けになっても、いつかまた本を読むようになると言われる。つまり、②のかかわりポイントは時間の使い方、セルフコントロールできるよう励ますことです。

しかし①の場合は親の積極的な関与が必要でしょう。

ゲーム以外の世界へ導くこと。自然の中で五感を使って遊ぶことや、音楽や芸術に触れること、他の勝負事に目を向けることなど、こどもが「楽しい！」と思える体験を試行錯誤しながら、楽しく実践してほしいと思います。

時間と場所を決めること

こどもの1日あるいは1週間の中で、ゲームはどのくらいの比重になっているでしょうか。親の期待とこどもの気持ちをすり合わせながら、ゲーム時間と場所を決めましょう。そして我が家のルールはしっかり守ること。

たまには親も一緒にこどもが好きなゲームを楽しんでみることも、お勧めですよ。

地域教育課社会教育担当
Tel (3647) 9676